

## 第4回企画委員会議事要旨

日時 2019年3月11日 18:00～20:00

場所 トヨタ東京本社2階211号室

出席者 駒村委員長、有村委員、池田委員、久保寺委員、丸物委員、村木委員、生田オブザーバー(全体委員会委員)、山田オブザーバー(全体委員会委員)、義本京都ジョブパーク総括担当課長、生活クラブ風の村、ダイバーシティ就労支援機構

### (義本京都ジョブパーク総括担当課長及び山田全体委員会委員からの京都ジョブパークについての報告)

○ 京都ジョブパークは、京都府が中心となって公労使が共同で運営する施設で、特に、就業困難な者への就業支援については、福祉サイドからではなく、一般就労サイドからアプローチしている。発足当時(2003年8月)の若年者就業支援センター(ジョブカフェ京都)は、若年者に対し、相談からキャリアアップ、職業紹介までのワンストップサービスを提供する拠点であったが、その後、障害者、高齢者、ひきこもりの若者、卒後早期離職者の再チャレンジなどにも対象者を拡大している。

○ 対象者類型ごとに多くのコーナーを用意し、ジョブパークの初回利用者には、初回受付で約1時間就職や生活に関する予備相談を行い、それに基づき、最適なコーナーを案内している。結果として、各利用者に最適で多様なサービスを提供している。初回受付は、(株)パソナ等の民間人材供給関連の大手企業に委託し、各社はベテランの専門家をカウンセラーとして配置している。

○ 相談から就職、職場への定着まで、ワンストップ支援を基本に、ハローワークだけではできないことを、京都府が中心となって、地域の主要なステークホルダー(利害関係者)が総出で協力体制を構築することによって実現している。

○ 今後は、就労継続支援A型・B型事業所、公共職業訓練校等との連携強化が課題である。

○ 厚生労働省職業安定局とは設立当初は意見の違いもあったが、現在はハローワークとも密接な連携が取れていて、それが成果にもつながっている。